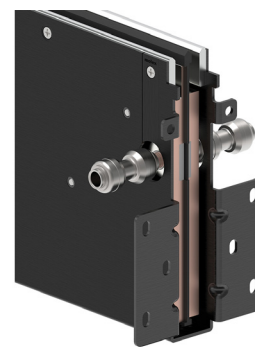


液冷バスバー

データセンターにおけるラック電力密度が急速に上昇する中、熱安定性を確保するうえで発熱量の増加が大きな懸念となっています。液冷バスバーソリューションは、専用のクーラントチャンネルを高電流バスバーアセンブリーに直接統合することで効率的な放熱を促し、コンパクトな電気システム内の配電をサポートします。高レベルの連続電流定格を可能にするこれらのバスバーは、データセンターの配電、AI、グラフィックス処理ユニット（GPU）サーバーなどに最適です。



利点と特徴

ハイパースケール規格との互換性を確保しながら、AIやアクセラレータのワークロードに必要な高電流容量を提供

Molexの液冷バスバーは、OCP ORv3機械規格に準拠して設計されており、最大15.0kAの電流をサポートします。これにより、導入リスクが抑制され、検証作業を軽減できます。

効果的な放熱により、ラックレベルのシステムに過剰な負荷をかけずに全体的な冷却効率とシステム信頼性を向上

広範な流量レンジ（約1LPM～10LPM）でエンドツーエンドの圧力損失を1パール未満に抑えることで、ポンプ出力と運転コストを最小化しながら建屋冷却ループとの統合を容易にします。多くの液冷式電源ソリューションと比較して、幅広い動作範囲にわたって圧力損失を抑制することで、冷却システムの設計を簡素化できます。

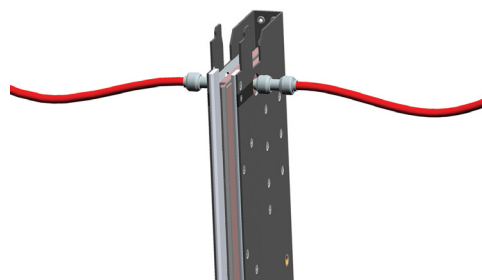
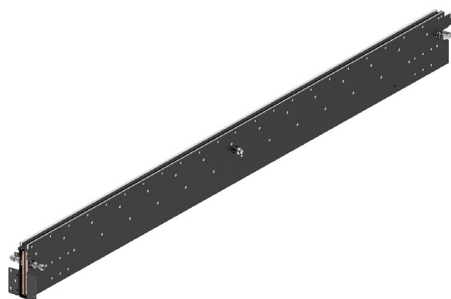
業界標準	OCP ORv3高出力ラック
電流	最大15.0kA
設計構成	カスタム
クーラントの互換性	誘電液体および非誘電液体

高電流密度における熱移動効率を改善し、安定した電気性能を維持し、局所的ホットスポットの形成を低減

高電力レベルでは放熱効率が制限される競合他社のシングルチャンネルソリューションに比べて、これらのバスバーはマルチチャンネル冷却により接触表面積を拡大させています。

液冷の段階的な導入を可能にすることで、時間とコストを軽減

液冷の段階的導入により、空冷システムから液冷システムへの置換・切り替えが容易になります。すぐにラックを再設計する必要がないため、電力密度の増加に応じた段階的な導入をサポートできます。



液冷バスバー ➤

市場とアプリケーション

ネットワーク

ネットワークおよび通信機器

データセンター用電源

配電装置

電源およびバッテリーバックアップユニット

サーバーとストレージ

AIおよび機械学習システム

AI/GPUサーバー

ハイパースケールデータセンター

Open Compute Project

サーバーおよびストレージシステム



通信機器



配電装置



ネットワーク、
AIおよび機械学習システム

仕様

参考情報

梱包：エンボス加工テープ（カバー付き）

設計仕様：ミリメートル

製品タイプ：液冷式電源バスバー

機械的標準アライメント：HPR/ORV3対応

電氣的仕様

連続電流定格：最大15.0kA

機械的仕様

機械標準：HPR/ORV3

長さとお行のオプション：カスタム

入口/出口設定：シングルまたはマルチ（設定可能）

物理的仕様

冷却方法：統合型液冷

クーラントの互換性：誘電液体および非誘電液体

流量範囲：約10 LPM

圧力損失：1バール未満（エンドツーエンド）

冷却チャンネル設計：マルチチャンネル